

ねりま健育会病院 福岡 洋輔

功 績 事務部総務人事課の福岡は、サービスエンジニアの経験を活かし、職員検診の内部職員による運営を企画し、実施した。これにより外部委託費 70万円のコストダウンに寄与した。又、今回のスキーム構築により今後の入社職員の検診においても委託コストが発生しないため、功績は大であると考え、推薦いたしました。

推 薦 者 事務部次長 松久 哲也

推 薦 理 由 本案件は、スキームの立案・チーム立ち上げ・情報をスムーズに流し込める帳票の作成等と、複数のタスクを並行的に行うプロジェクトリーダーとしての資質が試される案件でした。福岡は他部門を巻き込み、また事務部内メンバーとも協働し、目に見える成果を出しましたので、推薦させていただきました。

内 容

総務の福岡は、検診システムを販売している数社の会社に連絡を取り、検診を行うために必要な要素・要件を確認した。そして、病院での内製化が可能であり、また、電子カルテとの連動・拡張性においては、委託よりも内製化の方が優位であると判断し、病院内の既存のシステムを活用して、検診を実施することを提案する。

主な内容は、以下の通りです。

- ①電子カルテのグループウェア機能にて健診日程案内と健診予約を一括で行えるようにする。
- ②検診項目を事前にセットオーダーとして設定する。
- ③看護師（採血）、検査技師（心電図・尿便検査）、放射線技師（胸部レントゲン）、事務部職員（その他）にて検診を実施する。
- ④電子カルテシステム、検査システム、心電図システム、医療画像システムのそれぞれに散在する健診結果データを集約する。
- ⑤要件（労働基準監督署に提出できる）に沿ったフォーマット作成。帳票出力する仕組みを構築する。
- ④医師へ健診結果を確認、所見の記載をしていただく。
- ⑤職員に配布

上記のタスクを並行的にスケジュール管理した。

夜勤従事者の検診にも対応できるように、このシステムの改善を進めている。